

詠む広場

毎日俳壇

井上 康明 選

春蘭くや海は納百川のいろをもて

周南市 九内 千沙

△評▽深まる春の海の色をうたう。納百川は、衣類や家具などがしまつてあるところ。赤や紺、土色などの混ざり合った暗い色であろう。剪定のときばき空を拡げたる

久喜市 利根川輝紀

△評▽伸びすぎた枝を切り詰める。明るい春の空が現れる。リスミカルな音が聞こえてくる。草餅や分水嶺は雨の中

京田辺市 加藤 草児

図書室にゲーテを返し卒業す

東京 徳原 伸吉

ネクタイは臍脂好みの春の旅

富士市 後藤 秋臣

うららかな歩めば変はる山の色

甲府市 清水 輝子

その上を歩いていかな春の雲

浜松市 久野 茂樹

マウン드의砂巻き上ぐる春疾風

仙台市 引地 恵一

睫毛ももくく漂着の遅日かな

小平市 中澤 清

宿題をほつたらかして春野かな

芦屋市 井上 草太

片山由美子 選

海風の匂ふ北窓開きけり

北九州市 宮上 博文

△評▽冬の「北窓寒く」に対して「北窓開く」は春の季語。窓を開いた途端に海の匂いがしたところ。春らしさがある。

防府市 倉重 遥代

△評▽ピーナツ入りのバターをたっぷり塗った昼食のパン。春らしいのどかさを感じさせる。春暁やバイクの音の遠さか

葛城市 渡辺しん子

落椿海へ切り立つ岬かな

いわき市 四宮 公男

蔵の扉のひやりと重き春の月

加須市 萩原 康吉

待ち合はす駅の北口花辛夷

川崎市 露木 秋子

焼塩を割れば飛び出す桜鯛

東京 渡邊 顯

恋猫の驚かしたる寺の闇

神戸市 林山 任郎

チェロ背負ふ小さき背の中春の風

東京 郡司 正男

菜の花や土手に空地に捨煙に

羽生市 小菅 純一

小川 軽舟 選

メガソーラー人影む雪解かな

山形 佐藤美和緒

△評▽再生可能エネルギーと引き換えに、身近な自然から遠ざけられた。地球環境の維持のためにはやむを得ないの。か。もう一度庭に下り立つ日永かな

東京 永井 和子

△評▽特に用事があるわけではない。まだ明るい庭の草木の春めく様子に誘われたのだ。もの芽や明るき音の水しぶき

島根 高橋多津子

三月の卓にファープル昆虫記

東京 徳原 伸吉

裾分けの和布の雲浦の朝

北九州市 古屋 昭雄

ドリーネを連ねワバーレ草萌ゆる

四條畷市 中尾 謙三

春陰や母の首の輪ゴム痕

浦安市 田山 一穂

傷だらけのアルマイト鍋昭和の日

御殿場市 青山 典仁

啓蟄や長蛇の列へ拡声器

下関市 福永 浩隆

花ごぼし友情とあり種袋

東京 福島 照子

西村 和子 選

声明や闇に溶けたる修二会僧

伊勢市 奥田 豊

△評▽奈良東大寺の二月堂で行われるお水取りの行。籠もりの僧が唱える声に焦点を当て、姿は闇の中という手法が心憎い。颯爽とボタン外して春コート

相模原市 谷岡 栄

△評▽風に翻る明るい色。軽やかな靴音も聞こえてくる、元気がもてる句。黒潮の流るる岬鼓草

岸和田市 妙中 正

葱坊主傘でつついて登校す

北本市 萩原 行博

迷信に少しの真亀鳴けり

京田辺市 加藤 草児

たびら雪眠っていれば済む検査

京都市 根来美知代

春の灯やヒストロ口並ぶ運河へり

志木市 谷村 康志

暖かや六人乗りの乳母車

狭山市 小俣 敦美

大仏に渦をまきたる花吹雪

川越市 石田浩二郎

猫の恋一閃着のありぬべし

兵庫 横田 民子

大垣の春 高田正子

季語 出会いの

この春、奥の細道むすびの地・大垣市(岐阜県)で新しい催しが始まった。「高校生東西俳句決戦 in 大垣」という。第1回は春休みに入ってからすぐの日曜日、3月24日に開催された。私は生まれが岐阜県である縁で、夏に松山市で本戦が開催される俳句甲子園の審査員(計13人)の一員であることにより、選者として参加することになった。かつて芭蕉が旅の終わりに舟に乗り込んだという水辺は、例年ならば飛花が舞い、落花に覆い尽くされていたことだろう。少々の寒さならば「花冷」と呼んでやせ我慢したに違いない。「花いまだ」の今年、防寒の用意を怠りなく臨むことになった。俳句甲子園のスタッフの協力を得て、進行に滞りは無い。参加の高校生からも選者の先生方からも、初回の緊張感が少しづつほぐれてゆく。私が変化の兆しを感じたのは、同校とうしの準決勝となったこの対戦から。逆走の仔豚追ひかけ山笑ふ 小山(り) (岐阜・鸺谷高A) ・席替のくじに足す線山笑ふ 長瀬玲(同C) 校内では当確と見られていたAチームに対し、おすおすとしていたCチームの弁舌がさく裂。「線一本で教室内にきわいを描き切り、そのまま上昇気流に乗って決勝も押し切りました。固い花芽があつたという間につぼみとなつて、開き始めるのを目の当たりにした心持ち。むすびの地に始まる未来に、更に注目してきます。」 (ただだ・まてこ俳人)